

2021年11月02日

臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

[研究課題名] 心サルコイドーシスに合併した頻脈性・徐脈性不整脈の特徴、ならびに免疫抑制療法・不整脈治療の介入時期に関する研究：JHRS 多施設共同研究

[研究責任者] 循環器内科 部長 大久保健史

[研究の概要]

サルコイドーシスは原因不明の全身性肉芽腫性疾患で心臓に病変を生じる（心サルコイドーシス）ことがあり、その頻度は本邦で欧米に比較して高いことが知られています。病変の部位により、房室ブロックにより徐脈（遅い脈）を来して永久ペースメーカーの植え込みが必要となったり、頻脈（速い不整脈）により突然死の危険性が高くなったりすることもあります。突然死や心不全を治療、予防するために植え込み型除細動器、心臓再同期療法などの植え込みが行われます。また、不整脈頻度を減少させるために薬物やカテーテルアブレーション治療などが行われています。

本研究は、心サルコイドーシスに合併した徐脈性・頻脈性不整脈に関して過去の診療記録を調査する後ろ向き観察研究、多施設共同研究です。本研究により、本邦における心サルコイドーシスに合併した不整脈の治療（薬物やカテーテルアブレーション）の実態と成績を総括し、より効果的な治療・免疫抑制療法のタイミングが見いだせるようになることが期待されます。研究期間は倫理委員会承認後から2022年12月31日までです。

[研究の目的]

心サルコイドーシスに合併した徐脈性・頻脈性不整脈に対する治療選択・有効性、長期予後を明らかにすること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心臓サルコイドーシスの患者さまで、2011年1月1日から2022年12月31日の間に心サルコイドーシスに合併する徐脈性・頻脈性不整脈に対して薬物療法またはデバイス植込み、カテーテル治療を受けた方

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

カルテ情報：病歴、カテーテルアブレーション結果、3次元マッピングデータ、デバイスのチェック結果（ペースメーカー、埋込型除細動器などの不整脈の記録）など

[研究の期間] 横須賀共済病院 臨床研究倫理審査委員会 承認後から

2022年12月31日まで

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究実施計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710 (代表) (平日 午前8時30分から午後17時15分まで)

FAX 046-822-9139

連絡先対応者

循環器内科 部長（研究責任者） 大久保健史

*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。
あらかじめご了承ください。